



でんわ つう 電話はなぜすぐに通じるの

こう き あいて でんわ 交かん機が相手の電話につないでくれる

でんわ ひと う ひと あだ せん ちよくせつ
電話は、かける人と受ける人の間の線が、直接、つなげなければ、ふたりの間での話はできません。けいたい電話の場合は、無線局が、電波で受けた電話を、相手の電話につないでくれるのでつながるのです。

ひと でんわき おお かてい でんわ はな でんわきよく こう き あいて でんわ
一つの電話機で多くの家庭の電話と話しができるのは、電話局の交かん機が相手の電話につないでくれるからです。電話をかけるとき、送受信器をとりあげると、この電話機がまず局の交かん機につながれます。つづいて、相手の電話番号のダイヤルをまわすか、プッシュボタンをおすと、初めの局番の番号で、その地域の電話局を選び出し、後の電話番号で、その家庭の電話につないでくれるのです。

でんしき こう き でんわき はや 電子式の交かん機がふえ、電話機のつながりが速くなった

いぜん こん ぎ しごと こう しゅ てさぎょう
以前は、この交かん機の仕事は、すべて交かん手が手作業でやっていました。しかし、その後、電磁石をつかった交かん機ができて、手作業でやらなくてもよくなりましたが、最近では、電子式の交かん機がふえて、電話機の線のつながりがより速くなりました。

でんわ あいて でんわ つう
電話をかけると、すぐに相手の電話に通じるようになったのには、このようないきさつがあるのです。（監修・保岡 孝之）

